

---

# ミュンヒハウゼン

ビターチョコレート

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

ミュンヒハウゼン

### 【Nコード】

N1705Y

### 【作者名】

ビターチョコレゐト

### 【あらすじ】

嘘吐き少女の物語。可哀想なあたしは

ミュンヒハウゼン症候群は虚偽性障害に分類される精神疾患の一種。症例として周囲の関心や同情を引くために病気を装ったり、自らの体を傷付けたりするといった行動が見られる。1951年にイギリスの医師、リチャード・アッシャーによって発見され、「ほら吹き男爵」の異名を持ったドイツ貴族ミュンヒハウゼン男爵にちなんで命名された。(フリー百科事典 Wikipediaより引用)

あたしという人間そのもの単体に価値などない。あたしという存在はあまりにもちっぽけで空气中をふよふよと漂う塵のように頼りなくて、儂い。地球という巨大なチェス盤の上に置かれた七十億の駒のうち一つで、いくらでも代わりのきく存在であるあたしに、なんの価値があるのだろう。足場は酷く不安定で今にも崩れ落ちて、奈落の底へと落ちていきそうな気がしてしょうがない。綱渡りをするかのような酷く危ういのがあたしという存在。一歩足を踏み外したら真つ逆さまだ。ぐちゃぐちゃにもつれた感情に埋もれて、抜けだせない。

存在さえ危うい、輪郭すらおぼろげな自分を保つために、あたしは今日も嘘を吐く。こうすることでしか自分を保てないから。自分の足で立つことすらままならないから。他者との関係に依存して、必死に関心や同情を引こうとして呼吸をするように嘘を吐く。そうすることでしか自分の心を満たす事が出来ないから。皆があたしの

事を考えているというだけで、その間だけ自己満足に浸ることができ。皆は優しいからあたしのことを疑わない。あたしのお芝居を皆は本当だと信じ込んでいる。

あたしはこの自己満足に浸っていたいから。皆の関心を引き寄せたいから。いつものようにカッターナイフを握る。鈍色の光が蛍光灯の光を反射してキラリと光り輝く。皆の関心を引き寄せられる、そう考えたらこんな痛みなんて

銀色の光が奔った。

もう、あたしはとつくに迷子になっていた。何にも価値を見いだせない空っぽで虚ろな自分を偽るために他人の関心を引こうとした。皆は優しいから。心配してくれるから。その間だけは満たされているから。でも、一回同情されたり優しくされたりするともっと欲しくなつて。もっと、もっと、もっとと求めていたらいつの間にか抜け出せなくなつていた。もうとつくに道を踏みはずして落ちていたんだ。感情の整理もままならず、埋もれて行った思いはもう

嗚呼、ほらあたしってばこんなにも可哀想。



## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n1705y/>

---

ミュンヒハウゼン

2011年11月3日03時07分発行